

# 専門学校 健祥会学園学則

## 第1章 総則

### (目的)

第1条 本学園は教育基本法及び学校教育法に従い、社会福祉専門課程、医療専門課程を設置し、「福祉は人 人は心」の理念のもとに、高度化する介護・保育・医療を通じて人々の健康と幸福に資することができる実践能力を有し、広く優しい心を持った専門職を養成することを目的とする。

### (名称及び所在地)

第2条 本学園は、専門学校 健祥会学園と称し、徳島市国府町東高輪字天満347番地1・369番地1に置く。

## 第2章 課程及び学科、修業年限、定員並びに休業日

### (課程、学科等)

第3条 本学園に社会福祉専門課程 介護福祉学科・保育学科、医療専門課程 理学療法学科・作業療法学科を置く。

### (修業年限)

第4条 本学園の理学療法学科・作業療法学科の修業年限は3年、介護福祉学科・保育学科の修業年限は2年とする。

2 理学療法学科・作業療法学科は6年を、介護福祉学科・保育学科は4年を超えて在学することはできない。

### (定員、学級)

第5条 本学園の定員は、次のとおりとする。

課程名	学科名	昼夜の別	修業年限	入学定員	総定員	総学級数
社会福祉専門課程	介護福祉学科	昼間	2年	80名	160名	4
	保育学科	昼間	2年	30名	60名	2
医療専門課程	理学療法学科	昼間	3年	40名	120名	3
	作業療法学科	昼間	3年	40名	120名	3

### (学年、学期)

第6条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。学年を分けて次の2期とする。

前期 4月1日から 9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

### (休業日)

第7条 本学園の休業日は次のとおりとする。ただし、校長が認めた場合は、臨時に休業日を設定、また、休業日であっても授業を行うことができる。

- 1 日曜日
- 2 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に規定する日
- 3 春季休業、夏季休業及び冬季休業（毎年度の初めにそれぞれ校長が定める期間）

## 第3章 教育課程、授業時数及び教職員組織

### (教育課程、授業時数)

第8条 本学園の教育課程及び授業時数は別表（1、2、3、4）のとおりとし、各授業時間は90分とする。ただし、これを2時間の授業と算定する。学外実習は1日8時間を標準とし、9時間を超えないものとする。

（始業及び終業時刻）

第9条 本学園の始業及び終業の時刻は、午前9時から午後6時10分までとする。

（教職員組織及び運営）

第10条 本学園に次の職員を置く。

校長	1名
専任教員	23名以上
講師	20名以上
事務職員	5名以上
学校医	1名

2 本学園の組織運営については前項による他、校長が別に定める。

## 第4章 入学、休学、退学及び賞罰

（入学資格）

第11条 本学園に入学することのできる者は、学校教育法第90条第1項に定められている者とする。

（入学時期）

第12条 本学園の入学時期は、学年の始めとする。

（出願手続）

第13条 本学園に入学を志望する者（以下「入学志願者」という。）は、所定の入学願書に入学検定料及び別に定める書類を添えて、所定の期日までに願出しなければならない。

（入学手続き）

第14条 入学志願者については、選考試験を行い、選考により合格した者は、所定の期日までに入学金及び所定の書類、誓約書等を提出しなければならない。なお、選考要項及び選考要領は別に定める。

（保証人）

第15条 前項の誓約書には、保証人2名の連署がなければならない。

2 保証人は独立の生計を営む成年者であり、学校に対して当該者に関する一切の責任を負うことのできる者でなければならない。また、未成年者については原則として保証人のうち1名を保護者とする。

3 保証人が死亡またはその資格を欠くにいたった時は、保証人を補充しなければならない。

4 保証人の住所等に変更があった場合は、その旨を直ちに届けなければならない。

5 校長は、保証人が適当でないとき、これを変更させることができる。

（入学許可）

第16条 校長は第14条の手続きを完了した者に対し、入学を許可する。特別の事情があると認められる者については、手続きの延期を認めることがある。

（転・編入学）

第17条 転入学又は編入学を希望する者があるときは、定員に欠員があり、かつ、学習の進度が本学園の進度と同等である場合に限り、校長はこれを許可することができる。

- 2 前項の規定により、入学の許可をされた者の既に修得した授業科目及び時間数（単位数）の取り扱い及び在学すべき年数については、関係法令に基づき履修評価委員会の議を経て校長が決定する。

（身上異動の届出）

第18条 住所または身上に異動があった者は、校長に届け出なければならない。

（欠 席）

第19条 病気その他やむを得ない理由により欠席しようとする者は、指定された期日までに欠席届と欠席理由証明書（医師の診断書等）を校長に提出しなければならない。

（休 学）

第20条 病気その他やむを得ない理由により休学を願い出る者は、保証人連署の「休学願」に診断書等を添えて提出し、校長の許可を受けなければならない。

- 2 病気その他により修学できないと認められた者については、校長は、その者に休学を命ずることができる。

（休学期間）

第21条 休学期間を在学年限に含む。

- 2 願い出た休学期間を経過してもなお復学しない者に対して、校長は、退学を命ずることができる。

（復 学）

第22条 休学期間満了の場合、又は休学期間内であっても、その理由が消滅した場合には、保証人連署の「復学願」を提出して校長の許可を得て、復学することができる。

（退 学）

第23条 病気その他やむを得ない理由により退学しようとする者は、保証人連署の「退学願」を提出して校長の許可を受けなければならない。

（懲 戒）

第24条 校長は、教育上必要と認めた場合には、学生に懲戒を加えることができる。

- 2 懲戒の種類は、次のとおりとする。

- (1)訓 告
- (2)停 学
- (3)退 学

- 3 懲戒処分は、次の各項の一に該当する者に対して、これを行う。

- (1)性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2)正当の理由がなくて、出席常でない者
- (3)学校の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

（褒 賞）

第25条 成績優秀にして他の範となる者は、褒賞することがある。

（除 籍）

第26条 校長は、次の各号の一に該当する者を除籍することができる。

- (1)授業料を納期までに納付せず、かつ、督促しても納付しない者
- (2)死亡、行方不明の者
- (3)第2章第4条第2項に規定する期間を超えた者

（再入学）

第27条 本学園を退学した者、または除籍された者が、退学または除籍後2年以内に再入学を願ったときは、欠員のある場合に限り、選考の上、学年の初めに限り許可することがある。

## 第5章 単位認定、卒業認定等

(科目の認定)

第28条 科目の単位認定は、出席状況・試験・論文・報告書・発表・作品その他を総合して行う。

- 2 学外実習を除く各科目の出席時間数が所定の時間数の3分の2に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。
- 3 介護福祉学科は、学外実習の出席時間数が所定の時間数の5分の4に満たない者については当該科目の履修の認定をしない。その他の学科は、学外実習の出席時間数が所定の時間数に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。
- 4 他校における授業科目の履修等については、教育上有益と認めるときは、学生が行った他の専修学校の専門課程における授業科目の履修、大学または短期大学における学修、その他文部科学大臣が別に定める学修を、当該専門課程における授業科目の履修とみなすことができる。ただし、当該専門課程における授業科目の履修とみなすことができる授業時数は、当該専門課程の修了に必要な総授業時数の2分の1を超えないものとする。
- 5 試験は、定期試験、卒業試験、追試験・再試験とする。
- 6 成績の評価は、合格(秀・優・良・可)、不可の評語で表し、合格をもって当該科目の単位を認定する。
- 7 試験の実施方法及び科目履修認定の取り扱いについては別に定める。

(卒業認定)

第29条 校長は、当該学年の全開講科目が認定された者を進級させ、第8条に定める全科目の単位を修得し、かつ卒業試験に合格した者に対し、卒業を認定し、卒業証書を授与する。

- 2 介護福祉学科の卒業者は、社会福祉士及び介護福祉士法第40条による規定に基づき介護福祉士国家試験の受験資格を取得できる。
- 3 保育学科の卒業者は、児童福祉法第18条の六第1号の規定に基づき保育士を取得できる。
- 4 理学療法学科の卒業者は、理学療法士及び作業療法士法第11条第1号の規定に基づき理学療法士国家試験の受験資格を取得できる。
- 5 作業療法学科の卒業者は、理学療法士及び作業療法士法第12条第1号の規定に基づき作業療法士国家試験の受験資格を取得できる。

## 第6章 入学金、授業料、その他

(入学金その他の金額)

第30条 入学検定料、入学金、授業料、その他の納付金の金額については次のとおりとする。

	介護福祉学科	保育学科	理学療法学科	作業療法学科
入学検定料	20,000円	20,000円	30,000円	30,000円
入学金	200,000円	200,000円	300,000円	300,000円
授業料(年間)	600,000円	400,000円	600,000円	600,000円
実習費(年間)	150,000円	50,000円	200,000円	200,000円
施設整備費(年間)	150,000円	100,000円	200,000円	200,000円

※保育学科は、大学通信教育部併修費として別途必要

(授業料等)

第31条 初年度の授業料、実習費、施設整備費（以下「授業料等」という。）は入学手続き時に納入するものとする。それ以降は4月に納入するものとする。ただし、特別の事情があると認められる者については、分納、延納または減免を認めることがある。

- 2 学生が休学した場合は、次の学期から授業料を免除することがある。
- 3 休学中の者が復学した場合は、復学した学期からの授業料等を徴収する。
- 4 停学処分を受けた者については授業料等を徴収する。
- 5 学期途中で退学または除籍された者については、すでに納入している授業料等については返還しない。

(入学金その他の取扱)

第32条 既納の入学検定料、入学金、授業料等は返還しない。ただし、授業料等については入学年3月31日までに書面で辞退届の提出があり、認められた場合は返還する。

(健康診断)

第33条 学生の健康診断は、年1回以上実施するものとする。

(学校評価)

第34条 本学園は、その教育の一層の充実を図り、本学園の目的及び社会的使命を達成するため、本学園の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら点検及び評価（以下「自己評価」という。）を行い、その結果を公表するものとする。

- 2 本学園は、自己評価結果を踏まえ、本学園の関係者等による評価（以下「学校関係者評価」という。）を行い、その結果を教育活動等に活用するとともに公表するものとする。
- 3 前2項に定める自己評価及び学校関係者評価の実施並びに結果の公表について必要な事項は、別に定める。

(その他)

第35条 この学則に定めるもののほか、この学則実施に関し必要な事項は別に定める。

## 第7章 附帯事業

(附帯事業)

第36条 本学園の附帯事業は、次のとおりとする。附帯する事業に関し、必要な事項は別に定める。

課 程 名	期 間	定員
介護福祉士実務者研修 (通信制)	6か月以上。ただし、介護職員初任者研修、介護職員基礎研修等の研修を過去に受講し課程を修了した者については、研修期間を1か月以上とする。	400名

附 則 この学則は、平成8年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成10年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成12年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成18年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成21年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成23年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成26年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成28年4月1日から施行する。

改 正 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

(第2条及び別紙1の一部改正)

- 改正 この学則は、平成31年4月1日から施行する。  
(目的の変更、履修認定の変更等による。別表3は告示改正による変更であり、平成31年度入学生から適用する。)
- 改正 この学則は、令和2年4月1日から施行する。  
(保育福祉学科廃止、理学療法学科・作業療法学科入学その他の金額変更及び教育課程変更、介護福祉士実務者研修定員変更による。ただし、別表3,4は指定規則改正による変更であり、令和2年度入学生から適用する。理学療法学科・作業療法学科入学金その他の金額について、令和3年3月31日に在学する者は、改正学則の規定にかかわらず、なお従前の例による。)

介護福祉学科 カリキュラム

別表 1

領域	教育内容	科目名	履修方法	時間数	1年		2年			
					前期	後期	前期	後期		
人間と社会	人間の理解 社会の理解	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	講義	30		30			
		人間関係とコミュニケーション	人間関係とコミュニケーション	講義	30	30				
		社会の理解	社会の理解	講義	60		30	30		
	選択科目		生物	生物	講義	120	30			
			健康と生活	健康と生活	演習			30		
キャリア形成入門			キャリア形成入門	演習	30					
キャリア形成実践			キャリア形成実践	演習				30		
小計				240	90	60	60	30		
介護	介護の基本	介護の基本A	介護の基本A	講義	180	30				
		介護の基本B	介護の基本B	講義		30				
		介護の基本C	介護の基本C	講義			30			
		介護の基本D	介護の基本D	講義				30		
		介護の基本E	介護の基本E	講義				30		
		介護の基本F	介護の基本F	講義					30	
	コミュニケーション技術	コミュニケーション技術	講義	60	30					
			演習					30		
	生活支援技術	生活支援技術	生活支援技術A (居住環境・身じたく)	生活支援技術A (居住環境・身じたく)	演習	300	30			
			生活支援技術B (移動・移乗)	生活支援技術B (移動・移乗)	演習		30			
			生活支援技術C (食事)	生活支援技術C (食事)	演習		30			
			生活支援技術D (清潔)	生活支援技術D (清潔)	演習			30		
			生活支援技術E (排泄)	生活支援技術E (排泄)	演習			30		
			生活支援技術F (家事・睡眠・終末期)	生活支援技術F (家事・睡眠・終末期)	演習			30		
			生活支援技術G (視覚・聴覚・発達障害等)	生活支援技術G (視覚・聴覚・発達障害等)	演習				30	
			生活支援技術H (運動機能障害)	生活支援技術H (運動機能障害)	演習					30
			生活支援技術I (内部障害・認知症)	生活支援技術I (内部障害・認知症)	演習				30	
			生活支援技術J (形態別)	生活支援技術J (形態別)	演習					30
	介護過程	介護過程	介護過程A	介護過程A	講義	150	30			
			介護過程B	介護過程B	演習			30		
介護過程C			介護過程C	演習			30			
介護過程D			介護過程D	演習				30		
介護過程E			介護過程E	講義					30	
介護総合演習	介護総合演習	演習	120	30	30	30	30			
介護実習	介護実習	介護実習Ⅰ	介護実習Ⅰ	実習	450	90				
		介護実習Ⅱ	介護実習Ⅱ	実習			160			
		介護実習Ⅲ	介護実習Ⅲ	実習				200		
小計				1260	330	370	380	180		
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解	発達と老化の理解	講義	60			30	30	
		認知症の理解	認知症の理解	講義	60	30	30			
		障害の理解	障害の理解	講義	60			30	30	
	こころとからだのしくみ		こころとからだのしくみA	こころとからだのしくみA	講義	120	30			
			こころとからだのしくみB	こころとからだのしくみB	講義			30		
こころとからだのしくみC			こころとからだのしくみC	講義	30					
こころとからだのしくみD			こころとからだのしくみD	講義			30			
小計				300	90	90	60	60		
医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア	医療的ケア	講義	50				50	
		医療的ケア演習	医療的ケア演習	演習	○				○	
合計				1850	510	520	500	320		
選択科目		ゲートボール	ゲートボール	演習	30		30			
		国家試験対策講座Ⅰ	国家試験対策講座Ⅰ	講義	30			30		
		国家試験対策講座Ⅱ	国家試験対策講座Ⅱ	演習	30				30	
小計				90	0	30	30	30		
合計				1940	510	550	530	350		

保育学科カリキュラム

別表2

区分	系列	科目名	履修方法	1年次		2年次		時間
				前期	後期	前期	後期	
教養科目	教養科目	英会話	演習(2)		30			30
		健康科学	講義(1)	15				15
		日本国憲法	講義(2)			30		30
		生涯スポーツ	実技(1)		30			30
		国語表現	演習(1)	15				15
		情報処理入門	演習(2)	30				30
		キャリア形成入門	演習(1)	15				15
単位(時間)数小計			10	75	60	30	0	165
専門教育科目 I	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義(2)			30		30
		教育原理	講義(2)	30				30
		子ども家庭福祉	講義(2)				30	30
		社会福祉	講義(2)	30				30
		子ども家庭支援論	講義(2)			30		30
		社会的養護 I	講義(2)	30				30
		保育者論	講義(2)			30		30
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義(2)			30		30
		子ども家庭支援の心理学	講義(2)				30	30
		幼児の心理学	演習(2)		30			30
		子どもの保健	講義(2)			30		30
		子どもの食と栄養	演習(2)			30		30
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義(2)		30			30
		保育内容総論	演習(2)	30				30
		健康	演習(1)	15				15
		幼児と人間関係	演習(1)		15			15
		幼児と環境	演習(1)	15				15
		幼児と言葉	演習(1)	15				15
		幼児と造形表現	演習(1)	15				15
		幼児と健康	演習(1)			15		15
		造形表現(指導法)	演習(2)		30			30
		音楽(理論)	演習(1)	15				15
		幼児と音楽表現 I	演習(1)	15				15
		幼児と音楽表現 II	演習(1)		15			15
		音楽表現技術 I	演習(2)			30		30
		音楽表現技術 II	演習(2)				30	30
		保育実習	乳児保育 I	講義(2)	30			
	乳児保育 II		演習(1)			15		15
	子どもの健康と安全		演習(1)				15	15
	幼児への特別な支援		演習(2)			30		30
	社会的養護 II		演習(1)			15		15
	総合演習	子育て支援	演習(1)				15	15
		保育実習 I (保育所)	実習(2)		90			90
保育実習 I (施設)		実習(2)		90			90	
保育実習事前事後指導 I (保育所)		演習(2)		30			30	
保育実習事前事後指導 I (施設)	演習(1)		15			15		
総合演習	保育実践演習	演習(2)				30	30	
単位(時間)数小計			60	240	345	285	150	1020
専門教育科目 II	保育の目的に関する科目	教育方法論	講義(2)	30				30
		教職概論	講義(2)				30	30
		教育相談	演習(2)				30	30
	保育の対象の理解に関する科目	幼児の観察と理解 I	演習(2)	30				30
		幼児の観察と理解 II	演習(2)			30		30
		幼児の観察と理解 III	演習(1)				15	15
	保育の内容・方法に関する科目	児童文化	演習(1)				15	15
		幼児体育	演習(1)				15	15
		言語表現	演習(2)				30	30
		音楽表現(指導法)	演習(1)	15				15
	保育実習	劇あそび(指導法)	演習(1)		15			15
		保育実習 II	実習(2)			90		90
保育実習事前事後指導 II	演習(2)			30		30		
単位(時間)数小計			21	75	15	150	135	375
特設科目	特設科目	人形劇	演習(2)				30	30
		食育 I	演習(1)			15		15
		食育 II	演習(1)				15	15
単位(時間)数小計			4	0	0	15	45	60
合計			95	390	420	480	330	1620



理学療法学科カリキュラム

別表3

区分	科目名	単位	時間数	第1学年		第2学年		第3学年		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	<i>科学的思考の基盤・人間と生活・社会の理解</i>									
	人間関係論	2	30	30						
	ユニバーサルスポーツ	2	30	30						
	情報科学	2	30	30						
	健康増進科学	2	30		30					
	英語コミュニケーション	2	30	30						
	総合科学	2	30	30						
	保健社会行動学	2	30	30						
	小計	14	210	180	30	0	0	0	0	
専門基礎分野	<i>人体の構造と機能及び心身の発達</i>									
	解剖学Ⅰ	3	90	90						
	解剖学Ⅱ	1	30		30					
	生理学Ⅰ	2	60	60						
	生理学Ⅱ	2	60		60					
	運動学Ⅰ	2	60		60					
	運動学Ⅱ	1	30			30				
	人間発達学	1	30		30					
		小計	12	360	150	180	30	0	0	0
	<i>疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進</i>									
	病理学	1	30		30					
	一般臨床医学Ⅰ	1	30			30				
	一般臨床医学Ⅱ	1	30				30			
	内科学Ⅰ	1	30			30				
	内科学Ⅱ	1	30				30			
	神経内科学	1	30			30				
	脳神経外科学	1	30				30			
	精神医学Ⅰ	1	30			30				
	リハビリテーション工学	1	30	30						
	整形外科Ⅰ	1	30			30				
	整形外科Ⅱ	1	30				30			
	老年医学	1	30		30					
	小児科学	1	30			30				
	臨床心理学	1	30		30					
		小計	14	420	30	90	180	120	0	0
	<i>保健医療福祉とリハビリテーションの理念</i>									
	リハビリテーション医学	1	30	30						
リハビリテーション概論	1	30	30							
地域保健医療福祉論	1	30		30						
社会保障経済学	1	30		30						
	小計	4	120	60	60	0	0	0	0	
専門分野	<i>基礎理学療法学</i>									
	理学療法概論	1	30	30						
	基礎理学療法学Ⅰ	3	90	60	30					
	基礎理学療法学Ⅱ	1	30			30				
	基礎理学療法学Ⅲ	1	30				30			
		小計	6	180	90	30	30	30	0	0
	<i>理学療法管理学</i>									
	理学療法マネジメント論	1	15						15	
	理学療法臨床教育論	1	15						15	
		小計	2	30	0	0	0	0	30	0
	<i>理学療法評価学</i>									
	理学療法評価学Ⅰ	3	90	30	60					
	理学療法評価学Ⅱ	2	60			60				
	理学療法評価学演習	1	30				30			
		小計	6	180	30	60	60	30	0	0
	<i>理学療法治療学</i>									
	基礎理学療法治療学	1	30		30					
	神経系障害理学療法学	2	60			30	30			
	筋骨格系障害理学療法学	2	60			30	30			
	内部障害系理学療法学	2	60			30	30			
	老年期障害理学療法学	1	30		30					
	発達障害系理学療法学	1	30			30				
	スポーツ障害理学療法学	1	30		30					
	物理療法学	2	60			30	30			
	義肢装具学	2	60			30	30			
	日常生活活動学	2	60			30	30			
	臨床理学療法学演習Ⅰ	1	30				30			
	臨床理学療法学演習Ⅱ	2	60						60	
	臨床理学療法学特論	1	30						30	
		小計	20	600	0	90	210	210	0	90
	<i>地域理学療法学</i>									
	地域理学療法学総論	1	30			30				
	地域理学療法学各論	2	60				60			
		小計	3	90	0	0	30	60	0	0
	<i>臨床実習</i>									
	見学体験実習	1	45	45						
	基礎評価実習	2	90		45	45				
	臨床評価実習	3	135				135			
	臨床総合実習	17	765						765	
		小計	23	1035	45	45	45	135	765	0
		合計	104	3225	585	585	585	585	795	90

作業療法学科カリキュラム

別表 4

区分	科目名	単位	時間数	第1学年		第2学年		第3学年		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	科学的思考の基礎・人間と生活・社会の理解									
	人間関係論	2	30	30						
	ユニバーサルスポーツ	2	30	30						
	情報科学	2	30	30						
	健康増進科学	2	30		30					
	英語コミュニケーション	2	30	30						
	総合科学	2	30	30						
	保健社会行動学	2	30	30						
小計	14	210	180	30	0	0	0	0		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達									
	解剖学Ⅰ	3	90	90						
	解剖学Ⅱ	1	30		30					
	生理学Ⅰ	2	60	60						
	生理学Ⅱ	2	60		60					
	運動学Ⅰ	2	60		60					
	運動学Ⅱ	1	30			30				
	人間発達学	1	30		30					
	小計	12	360	150	180	30	0	0	0	
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進									
	病理学	1	30		30					
	一般臨床医学Ⅰ	1	30			30				
	一般臨床医学Ⅱ	1	30				30			
	内科学Ⅰ	1	30			30				
	内科学Ⅱ	1	30				30			
	神経内科学	1	30			30				
	脳神経外科学	1	30				30			
	精神医学Ⅰ	1	30			30				
	精神医学Ⅱ	1	30				30			
	整形外科Ⅰ	1	30			30				
整形外科Ⅱ	1	30				30				
老年医学	1	30		30						
小児科学	1	30			30					
臨床心理学	1	30		30						
小計	14	420	0	90	180	150	0	0		
保健医療福祉とリハビリテーションの理念										
リハビリテーション医学	1	30	30							
リハビリテーション概論	1	30	30							
地域保健医療福祉論	1	30		30						
社会保障経済学	1	30		30						
小計	4	120	60	60	0	0	0	0		
専門分野	基礎作業療法学									
	作業療法概論	2	60	60						
	基礎作業学Ⅰ	1	30	30						
	基礎作業学Ⅱ	1	30		30					
	作業科学	1	30		30					
	小計	5	150	90	60	0	0	0	0	
	作業療法管理学									
	作業療法マネジメント論	1	15						15	
	作業療法臨床教育論	1	15						15	
	小計	2	30	0	0	0	0	30	0	
	作業療法評価学									
	作業療法評価学Ⅰ	1	30	30						
	作業療法評価学Ⅱ	1	30		30					
	作業療法評価学Ⅲ	1	30			30				
	作業療法評価学Ⅳ	1	30			30				
	作業療法評価学演習Ⅰ	1	30		30					
	作業療法評価学演習Ⅱ	1	30			30				
	小計	6	180	30	60	90	0	0	0	
	作業療法治療学									
	基礎作業療法治療学	2	60		30	30				
	身体障害作業療法Ⅰ	2	60			60				
	身体障害作業療法Ⅱ	2	60				60			
	精神障害作業療法Ⅰ	1	30			30				
	精神障害作業療法Ⅱ	1	30				30			
	発達障害作業療法Ⅰ	1	30			30				
	発達障害作業療法Ⅱ	1	30				30			
	高齢期作業療法	1	30			30				
	終末期作業療法	1	30				30			
	日常生活活動学Ⅰ	1	30			30				
	日常生活活動学Ⅱ	1	30				30			
	義肢装具学Ⅰ	1	30			30				
	義肢装具学Ⅱ	1	30				30			
	作業療法学総合演習	1	30				30			
	臨床作業療法Ⅰ	1	30					30		
	臨床作業療法Ⅱ	1	30						30	
	小計	19	570	0	30	240	240	30	30	
	地域作業療法学									
	地域作業療法	2	60				60			
	福祉用具支援論	1	30				30			
	生活環境論	1	30		30					
小計	4	120	0	30	0	90	0	0		
臨床実習										
見学体験実習	1	45	45							
基礎評価実習	3	135		45	90					
臨床評価実習	4	180				180				
臨床総合実習	18	810					810			
小計	26	1170	45	45	90	180	810	0		
合計	106	3330	555	585	630	660	870	30		